

じんげん ア ジ ー ル asile

春夏号
2019
大谷大学広報誌

土台になる「人間学」

大学で何を学び、どう生かすか —



文学部 仏教学科
第3学年
南出 龍

文学部 社会学科
第4学年
神田 恵

なる「人間学」

大学で何を学び、どう生かすか

困難を切り開いてきた人たちの生き方や、数々の社会問題を取り上げる「人間学」。第1学年の必須科目であり、学生一人ひとりの主体的な学びへと結びつける授業です。講義に決まった答えはありません。では、どのような学びが得られるのでしょうか。専攻の異なるそれぞれの学生の視点をおしてひもときます。

「考える材料」になる学び

一楽 「人間学」がどんな授業だったか覚えてますか。

南出 人はなぜ生きているのか、どう生きていくべきか、そういった問題を考える授業でした。だからすぐに答えが得られるものではなく、日々を生きていく糧をもらうような授業だったと思います。

神田・麓 すごい。もうまとまっちゃった。

一楽 (笑)。お二人はいかがですか、印象に残っている授業でもいいですよ。

神田 私は部落差別やハンセン病など、元々興味があった差別の問題について学べたのが良かったですね。

一楽 「人間学」ではさまざまなテーマを取り上げますが、社会や身近な話を盛り込むなどして、まずは何かに興味を持ってもらえるようにしていますからね。

麓 私は入学当初から小学校の先生になりたい一心だったので、将来のためになることは何でも吸収しようと思って授業を受けていました。なので、親鸞聖人やお釈迦様が、人々と同じ立場に立って物事を伝えられていたことから、自分が教員として持つべき姿勢を学ばせてもらいました。

一楽 うれしいですね。「人間学」はあくまでも「考える材料」。仏教の大学ですから仏教の話ですが、それを知識にとどめるのではなく、自らの学びに生かすことが大事です。

先入観をいかに取り除くか

一楽 ところで皆さんは今、どんなことに取り組

んでいますか。

麓 私は小学校や不登校児が通う学校で子どもたちと一緒に活動する、学校ボランティアに参加しています。

一楽 何か「人間学」で学んだことが生かされていますか。

麓 視点の持ち方ですね。子どもたちの輝いているところを見つけるために、いろんな角度から一人ひとりの個性を理解するようにしています。

一楽 何事も先入観を持たずに見ることの大切さを、「人間学」をおして学んでもらえたようですね。南出さんはいかがですか。

南出 僕は元々、人一倍物事を深く考えすぎたまう性格で、人はなぜ自分の考えに固執するのか、そのせいでだれかを傷つけたりするのに……というようなことをずっと考えていたんです。

一楽 何か変わりましたか。

南出 相手に合わせて法を説いたブツダの「対機説法」をおして、自分自身を見つめ直すことができました。寺を継ぐために学んでいることもあり、仏教を学ぶ入口としては最適でしたね。

一楽 良いきっかけとなって何よりです。

振り返って得られる気づき

一楽 神田さんは「人間学」を受講してからはばらく経ちますが、いかがですか。

神田 3年前のことになるので、私のなかに何が残っているか曖昧です。

一楽 そう思うのはなぜですか。

神田 少し前、映画で福祉を学ぶ自主ゼミで「多磨全生園」というハンセン病療養所へフィールド

文学部 真宗学科 教授
仏教教育センター長
一楽 真

文学部
教育・心理学科
第3学年
麓 真結

土台に

ワークに行ってきたんです。「あん」という映画を見たことをきっかけに、ハンセン病について考えることとなり、差別の歴史を中心に調べ、理解を深めてから行きました。

一楽 「人間学」で差別問題に興味を持ったことと繋がっていますね。

神田 はい。その際、元患者の方から聞いたお話は、事前学習で理解していたはずのものとはまったく違ったんです。いかに自分が知っていることや経験だけで物事を考えていたのかを思い知らされました。1年生の時の人間学のノートを読み返してみると、物事の捉え方などヒントになることをたくさん教えてもらっていたのに残念です。

一楽 でも良かったですね。後から気づくこともあるのが「人間学」です。その気づきが大きな成長に繋がったようですね。

「人を育てる大学」だからこそ

一楽 「人間学」の学びはすぐに結果が出るものではないかもしれませんが、皆さんのなかにちゃんと蓄積されているようですね。建学の理念にもあ

りますが、大谷大学は「人を育てる大学」です。その理念を最初に後押しするのが「人間学」なのでしょう。

神田 授業のおかげで、私は人の多様性を認めることの大切さに気づく、ひとつのきっかけになっていたと思います。

南出 僕は「とらわれの心」執着する心をなくしたいと思うようになりました。

一楽 大学は「どう生きるか」をしっかりと考え、自ら進む道を見つける場所です。社会には「人材」という言葉がありますが、役に立つか立たないかを超えた「人間力」を鍛えてほしいと願っています。

麓 その答えを見つけるのは簡単ではありませんが、学びがありますね。

一楽 どんな世の中になっても、乗り切っていく「土台」となる部分ですからね。皆さんの視野が今後どのように広がっていくか、楽しみにしています。





Osusume Spot

私の
おすすめ
スポット



文学部 哲学科
第3学年
山崎 星奈

知る人ぞ知る尋源館の 撮影スポット



三島由紀夫「金閣寺」にも登場する建物です。
赤レンガの尋源館を見ると、大谷大学の歴史を感じられます。
大学での過ごし方は本当に自由！すべてが自分次第。
笑って卒業できるように、やりたいことをやりましょう！



尋源館 / じんげんかん (国・登録有形文化財)

1913年に竣工され、2013年に100周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴の大学のシンボルです。2階の尋源講堂では、朝の勤行が行われています。

私の
おすすめ
スポット



Osusume Spot



文学部 歴史学科
第4学年
元平 雅仁

慶間館2F~5F マルチスペース

授業の間の一息にぴったりです。

大谷大学は、教員と学生間の距離がとても近く、
勉学だけではなく日々の相談も
親身に考えてくれます。
色々なことに全力で挑戦してください！

各フロア3ヵ所に設けられており、
尋源館を望める場所です。
さまざまな場面で、学生と教員や
学生同士で活用することができます。



2F/4F サブゼミスペース

[プロジェクト・ホワイトボード完備]
模擬授業やプレゼンテーションの
練習など、自由に活用できます。



5F コモンスペース

[大型モニター・ホワイトボード完備]
グループワークやミーティングなどに
対応したオープンスペースです。



学生支援部窓口 (教務課/学生支援課/キャリアセンター)

授業や資格、奨学金などに
ついて相談したいときは窓口へ。



文藝塾

紹介



学生ロビー「ミニール・プラザ」

慶間館 / きょうもんかん

1階中央の学生ロビー「ミニール・プラザ」の周りには、
学生支援部窓口、学習支援室、語学学習支援室、文藝塾など
さまざまな学生支援施設を配置しています。
また3階には情報系教室、4・5階には教員の個人研究室も
あります。



語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)

1F



学習支援室 (LEARNING SQUARE)

- 9月: 後期授業開始, 集中講義
- 8月: 夏期休暇
- 7月: 「卒業論文」, 「卒業研究」, 題目届提出, 前期定期試験, 晩天講座
- 6月: 宗祖誕生会
- 5月: 若葉祭, 前期授業開始, Web 聴講登録
- 4月: 入学式, オリエンテーション



キャンパス
カレンダー



オープンキャンパスの様子



慶間館での講義の様子



4月のキャンパス風景



入学式

博綜館

はくそうかん

1階には保健室・学生相談室・人権センターがあります。何か不安なことがあれば、独りで悩まず気軽に訪ねてください。2～5階には、教員の個人研究室もあります。



講堂棟

さまざまな宗教行事が行われる講堂や学内食堂があります。

体育館

アリーナや剣道部、卓球部、空手道部が使用する練習室のほか、マシンなどの設備が整ったトレーニングルームがあります。

部室棟

部室棟には70を超える団体の部室が集まっています。気になる団体があれば、どんどん訪ねてください！

4号館



1F 教職支援センター

教員免許の取得や教育実習について相談にのってくれる頼れるアドバイザーがいます。教員をめざす方はぜひ利用してください。

3F 総合研究室

教育研究に必要な図書を自由に閲覧できます。任期制助教が常駐し、勉強や研究についての適切な助言を得ることができます。

響流館 / こうらん

地下1階には、学内コンビニ、学内書店があります。



1F 博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学など、貴重な典籍や民俗資料約12,000点を所蔵し、そのうち10点が国の重要文化財に指定されています。定期的に企画展や特別展を開催しています。



B2F~2F 図書館

蔵書数は約84万冊、1・2階の閲覧室には約15万冊の図書や資料が充実しています。

私のおすすめスポット

Osusume Spot



#4号館と5号館を結ぶ通路

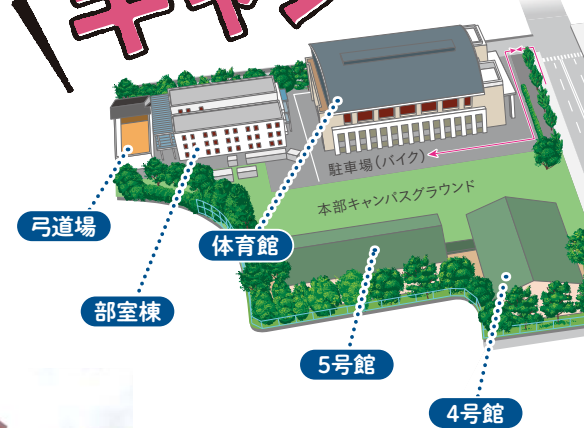
子どもたちと遊ぶ広場としても活用できます。

大谷大学のキャンパスはいつも活気に満ちあふれ、学業や課外活動、ボランティアなどに熱心に取り組む学生さんの姿が、いつも目につきます。さあ、一緒にがんばりましょう！

教育学部教育学科
准教授
池永 真義

私たちのキャンパス

CAMPUS GUIDE



2号館

幼児教育関連の実習室や仏教教育センターがある校舎です。

私のおすすめスポット

Osusume Spot



#慶間館1F 1号館側のトイレ

ホテルみたいにきれいで、いつもここを選んでしまいます。

大学は高校よりも自由な時間が増え、新しい出会いや発見がたくさんあります。大谷大学で充実した学生生活を送ってください。

文学部 国際文化学科
第3学年
北西 由香里

3月
卒業証書・学位記授与式



卒業式

2月
春期休暇



1月
卒業論文提出



1月のキャンパス風景

12月
卒業研究提出 (幼児教育保育科)



11月
学園祭「黎明祭」



学園祭の様子

10月
開学記念日



10月のキャンパス風景

9月
前期卒業証書・学位記授与式



開学記念式典の様子

Web修正登録

Pick UP!

クラブ活動

好きなこと、新しい可能性にとことん夢中になってみよう。

心から夢中になれることって、そんなにない。

だから見つかったら、納得のいくまで追求してみよう。

学生時代は、そんな気持ちを大切に育て、

たくさん友達と共有できる時。

「好き」ということに、とことんこだわると、

あなたの人生はきっと豊かになる。



写真部

部員数..25名(男16名・女9名)

活動日..月2回

顧問名..乾 源俊



写真部は、年4回程度響流館のギャラリーや外部施設のギャラリーを借りて写真展を行っています。

通常は月2回活動し、写真展が近づいてくると、どんな写真を撮るかといった話し合いをしながら準備を行います。

また、撮影会という写真の勉強会もしています。夏と冬に行う合宿では、観光をしつつ写真を撮るので、楽しみながら撮影の技術を磨くことができます。

大学に入ってからカメラを始めた人がほとんどなので、何か新しいことを始めたい人やカメラに興味のある人をお待ちしています。

【主な年間スケジュール】

- 4月 新歓展
- 5月 新人展
- 6月 有志展
- 8月 夏合宿
- 10月 撮影会
- 11月 紫明祭
- 12月 冬舞展
- 2月 冬合宿

箏曲部

部員数..5名(女5名)

所属団体..京都学生三曲連盟

活動日..週2回(月・金曜)

顧問名..岡村 明日香



私たち箏曲部は日本の伝統楽器である箏(こと)と三味線を使って週に2回活動し、尺八部と合同で演奏会を行っています。

古典的な雰囲気から難しそうなイメージがあるかと思いますが、楽曲にはノリの良いものから落ち着いたものまでさまざまなジャンルがあります。

部員全員が大学に入ってから始めたので、経験者はもちろん、初心者も大歓迎です。少しでも箏や三味線に興味を持つている方はぜひ箏曲部へ遊びに来てください！

【主な年間スケジュール】

- 5月 春合宿
- 6月 連盟定期演奏会
- 7月 サマーコンサート
- 8月 夏合宿
- 11月 定期演奏会
- 12月 連盟ジョイントコンサート
- 3月 追い出しコンサート

2018年度秋季大会等結果

※学生の学年は、大会時のものです。

卓球部

平成30年度秋季関西学生卓球リーグ戦 開催日:2018/9/11-9/16
男子 4部Cブロック 4位/女子 4部Aブロック 6位

サッカー部

2018年度 第96回 関西学生サッカー連盟 前期リーグ 開催日:2018/4/7-6/10
3部Aブロック 6位

陸上競技部

2018関西学生新人陸上競技選手権大会 開催日:2018/9/13-9/14
2018ダイヤモンドリレー 男子 三段跳 決勝 12位:西村 大成/文学部教育・心理学科 第2学年
第77回 滋賀県陸上競技選手権大会
第73回 国民体育大会選手選考会 開催日:2018/7/7-7/8
男子共通 三段跳 決勝1組 7位:西村 大成/文学部教育・心理学科 第2学年
(繰り上げで近畿選手権出場権獲得)

バスケットボール部

2018年度関西学生バスケットボールリーグ戦 開催日:2018/8/25-10/8
5部 8位

バレーボール部

2018年度 関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦 開催日:2018/9/9-10/21
男子 6部 5位

バドミントン部

平成30年度 関西バドミントン連盟新人戦大会 開催日:2018/11/10-11/19
女子シングルスB 優勝:村田 佳奈/文学部歴史学科 第1学年
第68回 関西学生バドミントン選手権大会 開催日:2018/6/2-6/14
男子 ダブルスBリーグ 1位:九野 雄志/文学部社会科学 第3学年
山根 尚大/文学部教育・心理学科 第2学年
女子 シングルスBリーグ 2位:村田 佳奈/文学部歴史学科 第1学年

アメリカンフットボール部

2018 関西学生アメリカンフットボールリーグ 開催日:2018/8/24-12/15
3部Aブロック 5位
※6位だったが5位の大学が棄権したことにより順位繰り上げ

スポーツチャンバラ同好会

第11回 関西・北陸・中国・四国・九州学生スポーツチャンバラ選手権大会 開催日:2018/6/24
有級女子基本動作 2位:仲田 瑞希/文学部歴史学科 第3学年
有級女子小太刀 2位:仲田 瑞希/文学部歴史学科 第3学年
有級女子長剣フリー 4位:山本 佳奈/文学部教育・心理学科 第3学年

【主な年間スケジュール】

- 4月下旬 全関西空手道選手権大会
- 5月上旬 全京都空手道選手権大会
- 8月下旬 夏合宿
- 9月上旬 関西学生オープンーナメント全関西空手道選手権大会

私たちは春、夏、秋にある大きな大会と、年2回行われる昇級昇段審査を目標に、日々練習に励んでいます。大きな大会だけでなく小さな大会にも年間をとおして参加する機会が多くあり、活躍する場がたくさんあります。部員の半数以上は大学から始めた人たちですが、コーチ、師範が指導してくださるので、初心者でも安心して始められます。過去には大学から始めて二段をとって卒業された先輩方もいます。初心者でも経験者でも大歓迎です！



師範とコーチとの集合写真



空手道部

部員数…4名(男2名・女2名)
所属団体…関西学生空手道連盟/京都市空手道連盟
活動日…週4回(月・木・金・土曜)
活動場所…大谷大学本部キャンパス体育館
顧問名…西本 祐攝

【主な年間スケジュール】

- 4月~5月 春季リーグ戦・関西大学バレーボール連盟
- 9月~10月 秋季リーグ戦・関西大学バレーボール連盟
- 11月 紫明祭
- 3月下旬 リーグ戦運営会議、審判講習会

バレーボール部は週3回体育館で活動しており、春と秋に開催されるリーグ戦に向け、日々練習を頑張っています。先輩後輩ともに仲が良く、楽しんで練習に励み、自分たちで工夫して練習メニューを考えています。また、テスト期間中や夏期休暇などの長い休みには、きちんと休みの日を作るので、勉強・アルバイトの両立も可能です。バレーボールをしたい人、体を動かしたい人など、少しでも興味がある方はぜひ見学に来てください。



バレーボール部

部員数…13名(男11名・女2名)
所属団体…関西大学バレーボール連盟
活動日…週3回(火・金・土曜)
活動場所…大谷大学本部キャンパス体育館
顧問名…赤澤 清孝

人文情報学科学生有志 「PENKI FACTORY Media Works」の取組み

9月28日(金)～10月14日(日)、京都・パリ友情盟約締結60周年記念として開催されたプログラムのひとつである、京都とフランスの「障害のある人の芸術作品」を紹介する展覧会『描き、紡ぎ、絆ぐ』において、人文情報学科の有志学生で作られた「PENKI FACTORY Media Works」(倉光延行プロデュース)が、展覧会の放映映像とサウンドの制作を行いました。また、トークイベントでは、進行オペレーターや写真撮影など運営サポートを行いました。

11月16日(金)～12月2日(日)、京都市内の会場にて開催された「第7回 天才アート展2018」においても、展覧会の映像制作や設営ボランティアとして協力しました。天才アートとは、障がいがある人の手による独自の創作を指します。学内では、展覧会や活動の様子がわかる映像を学生が制作し、講義内に放映することで、ほかの学生との共有を図りました。活動に参加した文学部人文情報学科第3学年の齊藤良彦さんは、「天才アート展の映像・サウンド制作などに携わり、講義内にとどまらない現場活動でのやりがいと成長を感じました。」と話してくれました。



「描き、紡ぎ、絆ぐ」のトークイベントの様子



天才アート展の活動には12名の学生が参加しました

大谷大学TAT第24便と 第25便、東北地方で ボランティア活動を実施 ※第26便、仙台で活動(3月8日～11日)

本学の教職員、学生有志による東日本大震災復興支援ボランティア活動「TAT(共に歩み隊)」は、9月15日(土)～9月17日(月)にかけて第24便、10月26日(金)～10月29日(月)には第25便として活動しました。

第24便は、山形県蔵王市で開催された東北の子どもたちやその保護者が参加する親子キャンプに運営スタッフとして活動し、第25便は、宮城県仙台市六郷地区の「六郷東部ふるさと交流祭」で炊き出しや交流会などの活動を行いました。

今回参加した教職員、学生からは、あたり前に過ごしがちな日常生活の大切さや、継続した「支援」のかたちについて深く考え直す機会となったという声が多く寄せられました。



第24便の活動の様子

2018年11月2日(金) 「第11回学生のための ガクモン講座」実施

本学の助教による教育・研究活動の一環として「第11回学生のためのガクモン講座」が実施されました。

今回の講座では、ドキュメンタリー映画『アリアン峠を越えていく』在日コリアン音楽の今』の上映と、監修者であり在日コリアンの音楽活動について研究されている高正子(コ・チョンジャ)氏による解説が行われ、第2部では安聖民(アン・ソンミン)氏、趙倫子(チョ・リョンジャ)氏による朝鮮の伝統芸能「パンソリ」の公演が行われました。

また、ゲストお三方と助教によるディスカッションでは、在日コリアンの方々にとつての音楽の役割についてお話しいただき、悩みや葛藤、自分自身との向き合い方について考える機会ともなりました。

多様な専門分野の助教による「ガクモン講座」は例年開催しています。幅広い分野の学びに出会うことができるのでぜひご参加ください。



2018年11月24日(土)

「秋まつりスマイルスクール」を開催

教育学部教育学科初等教育コース第1学年の有志学生が企画し、「おおたにキッズキャンパス(秋まつりスマイルスクール)」を開催しました。スマイルスクールは、将来教員をめざす学生が用意したさまざまな学びの企画を、地域の小学生や幼児に楽しんでもらう催しです。スライム・スパーボール作り、ひっかき絵などの図工活動をはじめ、風船バレーやダンスなど体を動かす活動、パネルシアターや縁日など14種類の企画が行われました。

当日は、57名の小学生や幼児が参加し、4・5号館内の各教室をまわって催しを楽しんでいました。学生たちにとっては初めてのキッズキャンパスの運営でしたが、自ら進んで子どもたちに声をかけ、積極的に関わろうとする姿が印象的でした。参加した子どもたちの保護者からは、次回以降もぜひ参加したいとお言葉をいただきました。



2018年12月18日(火)

「図書館イベント」ブックトークの「コミュニケーション」授業では聞けない先生の話を実施

12月18日(火)、本学の図書館1階カウンター前において、図書館イベント「ブックトークのコミュニケーション」授業で聞けない先生の話が実施されました。木越康学長を講師に迎え、自身の著書である『ポラントニアは親鸞の教えに反するのかー他力理解の相克』の執筆内容や、自身のTATでのポラントニア活動の経験、そのなかで感じた課題などについての話がありました。また本書の出版に携わった株式会社法蔵館の編集長である戸城三千代氏との掛けあいのなかでは、出版にあたっての裏話を聞くことができました。

イベントには約70名の参加があり、参加していた学生は「改めて、真宗とポラントニアというテーマをこれからも大事な課題にしたいと思いましたが」と感想を語ってくれました。



学生との質疑応答の様子

2018年11月22日(木)

ラジオで地域と大学が連携する「RADIO mix KYOTO」本学にて秋の交流会&公開生放送を実施

地域と大学が連携する地域密着型放送局「RADIO mix KYOTO」の発足3周年を祝し、本学を会場にして秋の交流会が開かれました。

京都市北区・上京区を主なサービスエリアとする「RADIO mix KYOTO」は、「地域と大学の連携」がテーマのコミュニティFM放送局として、2016年5月にスタートしました。また開局当時より放送している、本学文学部社会科学地域政策学コースの学生がパーソナリティを担当するラジオ番組「大谷大学ハッピーアワー」(毎週木曜19時~19時50分)では、京都市北区の烏丸北大路エリアに住む住民の方々をゲストに迎え、北大路の情報と魅力を発信

しています。

交流会では、「大谷大学ハッピーアワー」の公開収録が行われ、文学部社会科学科の学生3名がDJを務め、京都市・門川大作市長、木越康学長、大島祥子理事(NPO法人コミュニティラジオ京都)、赤澤清孝准教授、学生らが「地域と大学の連携」について対談しました。今回DJを務めた文学部社会科学科第3学年の井上健さんは、「ゲストの皆さんがとても気さくに話してくださり、貴重な時間を過ごせました。毎年恒例行事になってほしいです」と参加した喜びを語ってくれました。



公開収録の様子



関係者全員で集合写真

中学・高校生向け「第5回親鸞エッセイコンテスト」 高校生向け「第6回大谷大学文藝コンテスト」実施

「第5回親鸞エッセイコンテスト」では、「ほんとうって？」をテーマに全国から作品を募集しました。高校生部門1,894通、中学生部門192通の応募があったなか、高校生部門では神田綾菜さん(大谷高校)、中学生部門では藤井咲子さん(大谷中学校)が最優秀賞となりました。

また、全国の高校生から自由な発想の作品を募集する「第6回大谷大学文藝コンテスト」では、エッセイ部門1,074作品、小説部門178作品の応募がありました。最優秀賞は小説部門では吉田武尊さん(私立函館ラ・サール学校)、エッセイ部門では該当者なしとなりましたが、優秀賞

を3名が受賞しました。また、今年度より新たに加わった「PHPEッセイ賞」には、大谷未帆さん(島根県立松江東高校)の作品が選ばれ、月刊誌『PHP』に作品全文が掲載されます。今年度も全国各地からご応募をいただきありがとうございます。



※キャンパストピックスの学年表記については2018年度のもです。

文学部学生2名 第9回「言の葉大賞」において受賞

一般社団法人言の葉協会が主催する第9回「言の葉大賞」において、小生から社会人まで幅広く応募があるなか、文学部国際文化学科第2学年小澤菜美さん、文学部文学科第1学年小西由起さんの作品が大学生部門で入賞作品に選ばれました。

今年度は「『未来の自分』を描いたとき」というテーマで作文や手紙の応募が募られました。小澤さんは「入賞したと知ってとても驚きました。作品を書くなかで過去に描いた自分と今の自分は違うということに

気づいたので、そのことも踏まえて未来の自分を想像しました。」と自身の作品について語ってくれました。

小西さんは「文章を書くことに興味があり受講した『文藝塾講義』の授業のなかで書いた作品でした。『文藝塾講義』では、文章を書くことを仕事とされている外部講師の方々による講義もあり、普段聞けないような話を聞くことができるので、とても勉強になります。」と作品を執筆するきっかけとなった授業について話してくれました。

言の葉大賞の詳細はこちら→<http://www.kotonoha-taisho.jp>

2019年度前期博物館開館予定

※詳細は本学ホームページをご覧ください。

春季企画展

2019年4月1日(月)~5月18日(土)

大谷大学のあゆみ
大学の前身・学寮の時代

夏季企画展

2019年6月9日(日)~7月27日(土)

近代の東本願寺と北海道(仮)

秋季企画展

2019年9月3日(火)~9月21日(土)

大谷大学博物館の逸品
重要文化財『選択本願念仏集』【実習生展併催】

2019年度新入生歓迎イベント予定

2019年4月3日(水)~6日(土)

クラブ・サークル紹介 BOXスタンプラリー 若葉祭

新入生の皆さんに4月から充実した学生生活を送ってほしいという願いを込めて、4月3日(水)~6日(土)に、さまざまなイベントを新入生歓迎実行委員会が企画しています。

特に、4月6日(土)に開催する若葉祭では、学内各所で、課外活動団体の紹介やパフォーマンス、ライブなどで盛り上がります。ぜひご参加ください。



Our teacher

私たちの先生

哲学科の門脇先生のゼミ生4名が、ゼミの内容や先生について紹介してくれました。

文学部 哲学科 教授

門脇 健

専門／ヘーゲル、宗教哲学、日本宗教思想史

1954年福井県生まれ。

京都大学大学院文学研究科宗教学専攻博士後期課程退学。

1991年より大谷大学文学部哲学科教員、現在に至る。

先生からのMessage

他人の意見を聞かないくせに、自分が発言するときには訳のわからないことをだらだら述べて、面倒な仕事をせねばならない時にはいなくなる——そんな人とは一緒に生活したくはありません。ですから、私のゼミでは、私自身も含めて参加者がその逆の人間になれるように努めてきたつもりです。つまり、古典的テキストを熟読したりほかの学生の発言をじっくりと聞くことによって自分とは違う意見を理解し、自分の意見はわかりやすく簡潔に表現することができて、わからないことをコツコツと調べそれを他人に提供できる人間をめざす。これは社会人としての基本ですが、実は哲学の基本でもあるのです。哲学とは、自分の殻に閉じこもって漠然と考えることではありません。さまざまな人との交わりのなかで作業していくことによって、自分自身の問題を明確にしてゆくことなのです。

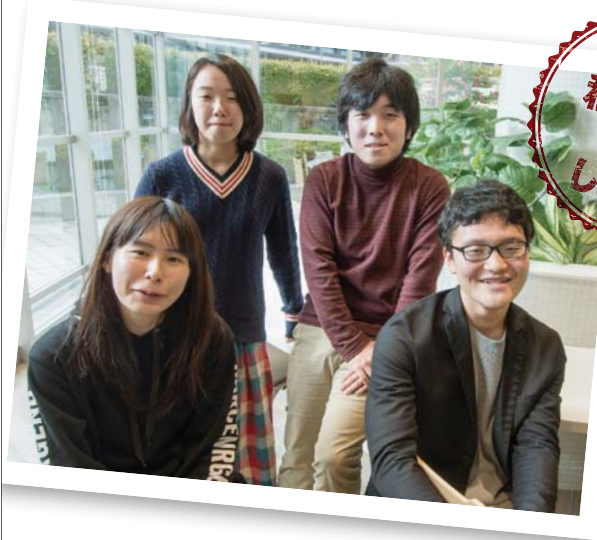
哲学を学ぶことは、人として生きる基礎を学ぶことなのです。

身近なことから、 人の死や愛を深く考える

門脇ゼミは宗教学・死生学コースのゼミのひとつです。人間は「死」をどのように受け止め、どう生きているのか。そういったことをとことん掘り下げて考えるゼミです。毎年、1年かけて1冊の本をゼミ生全員で少しずつ読み進めていき、一人ひとり割り当てられた内容についてまとめ、発表し、みんなで議論しています。

哲学といっても、堅い話ばかりではありません。今の文化や身のまわりのことを織り交ぜるなど、よく話がふくらみます。例えば小此木啓吾氏の新書『対象喪失』を題材にした2018年度のゼミでは、大切な人を失った悲しみをどう乗り越えるか話し合う際、ユーミンや中島みゆきなどの失恋ソングを先生が紹介。初めて聞く曲もあり、なかにはギャップを感じる学生もいましたが、「いい歌には通じるものがある」と熱く語る先生の解説は具体的で、いろいろ納得させられました。

一方、「文章力」を鍛えるのも門脇ゼミの特徴。自分の研究内容を600字で書く前期の課題では、「だれに理解してもらいたい意識して書くように」と先生から求められ、論理展開や言葉の使い方など文章を整えるのに四苦八苦しました。でも短くまとめるには相当考えないといけないため、哲学科の学生にとっては良い訓練ですね。



哲学科 第4学年 中込 菜



哲学科 第3学年 松田 周



哲学科 第3学年 高岡 晴奈



哲学科 第4学年 福田 晋理

※学年表記については2018年度のものです。

自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。

2018年度の就職環境を振り返って

2018年度の就職活動は、2017年度同様3月1日の広報開始から一斉に始まりました。企業の採用意欲も高い状況にあり、6月1日の選考開始以降、早期に内定(内々定)を得る学生も多く、内定を得たことで多くの学生が進路決定届を提出し、早々に就職活動を終了しました。

また、3月からの就職活動に苦労している学生、出遅れた学生を対象にしたリスタートガイダンスを例年の7月から5月末に前倒しで開催したところ、参加者の多くは7月末までに内定を得ることができました。秋以降は、公務員試験の結果から、企業への就職に切り替える学生など、それぞれのニーズに合わせた支援を行いました。

2019年度の就職環境について

2019年度の就職活動も、2018年度同様のスケジュールで開始されました。企業の採用意欲は高く学生優位な状況ではありませんが、業界・業種によっては必ずしも広き門ではありません。学生優位の売り手市場などの報道を鵜呑みにせずしっかり準備をすることが大切です。就職活動を行うなかで、行き詰ったり、困ったことが生じた場合

は、早い段階でキャリアセンターまで相談に来てください。

2020年度(新3年生)の就職環境について

2018年9月経団連会長の「採用選考に関する指針(就活スケジュール)」の廃止の発表以降、さまざまな憶測が飛び交いました。結果、政府主導による検討会において、2021年3月卒業見込みの学生の就職活動のスケジュールは現行のスケジュールを踏襲することとなりました。しかし、企業の動きとしては、第3学年夏からのインターンシップを中心に、動き出しがこれまで以上に早まることが予想されます。キャリアセンターでは、これらの動きに対応し、第3学年前期に夏のインターンシップに向けた業界研究など各種支援企画を行います。詳しくは次ページの「2019年度キャリア支援企画」などで確認し参加してください。

進路就職システム「大谷大学就職ナビ」

キャリアセンターでは、第1学年から利用できる進路・就職システム「大谷大学就職ナビ」(進路希望登録が必要)を運用し、大学に届く求人情報や、企業情報を配信しています。このシステムは、学内外のパソコン

だけでなく、携帯電話・スマートフォンからも利用できます。

キャリア支援について

キャリアセンターでは、卒業年次生の就職支援以外にも、各学年を対象としたキャリア支援企画(ライフプランニングセミナーなど)を開催しています。大谷大学就職ナビ、掲示、OTANI UNIPAなどで案内しますので、積極的に参加してください。

また、各種資格取得の講習も開講します。詳しくは「2019年度キャリア支援案内」で確認してください。

U・Iターン就職について

キャリアセンターには全国各地から求人が寄せられています。また、就職支援協定締結先である京都府、滋賀県、石川県をはじめとした地方自治体が主催する各地での合同企業説明会や、京都・大阪で行われる行事、インターンシップなどの案内が届きます。なかには交通費補助や帰省バスなどお得な情報も多数あります。U・Iターンを考慮している方は学年を問わずキャリアセンターに相談してください。



ライフプランニングセミナー



U・Iターン説明会



第2学年対象 キャリア支援ガイダンス

2019年度 キャリア支援企画 (2021年3月卒業・修了予定者)

※日程・企画は変更することがあります。

2018年	2019年												2020年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
	2年生			3年生									4年生											
就職支援企画	<p>6/1ナビサイト プレオープン</p> <p>夏 インターンシップ</p> <p>秋・冬 インターンシップ</p> <p>直前 インターンシップ</p> <p>3/1情報解禁 ナビサイトオープン</p> <p>6/1 選考解禁</p> <p>応募書類提出 (履歴書・エントリーシート等)</p> <p>筆記試験・適性検査・集団討論・ 集団面接・個人面接等</p> <p>卒業年次生を 対象とした支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内企業説明会 →2020年4月以降、随時 ・学内合同企業説明会 →2020年7月予定 ・社会人準備セミナー →2021年1月中旬 <p>就職ガイダンス(求人票の見方内定について)</p> <p>学内合同企業説明会(2日間)</p> <p>企業説明会マナーセミナー</p> <p>業界・企業研究セミナー</p> <p>就活強化演習セミナー</p> <p>冬の筆記試験対策講座(2日間)</p> <p>1月就職ガイダンス (志望理由作成・ナビサイト見直し・ハローワーク利用登録)</p> <p>履歴書用写真撮影会(3日間)</p> <p>地域別U・イターン就職説明会(3日間)</p> <p>U・イターン就職ガイダンス</p> <p>第2回筆記試験対策模試</p> <p>就職活動マナーガイダンス</p> <p>秋の筆記試験対策講座(2日間)</p> <p>就職活動ヘアメイクアップセミナー</p> <p>11月就職ガイダンス②(企業研究)</p> <p>11月就職ガイダンス①(業界職種研究)</p> <p>10月就職ガイダンス(面接対策)</p> <p>Webテスト受験会</p> <p>Webテスト対策ガイダンス</p> <p>9月就職ガイダンスインターンシップ振り返り履歴書</p> <p>夏の筆記試験対策講座(2日間)</p> <p>インターンシップマナーセミナー</p> <p>ライフプランニングセミナー(卒業後の自分を覗いてみよう)</p> <p>第1回筆記試験対策模試</p> <p>筆記試験対策ガイダンスWebテストSPI試験について</p> <p>6月就職ガイダンス (業界・職種・企業研究ナビサイトの使い方)</p> <p>キャリアデザインCafe (就活活動員)中の4年生と茶話会</p> <p>自己発見診断IIフォローガイダンス (インターンシップに向けて「就職のてびき」配布)</p> <p>4月就職ガイダンス</p> <p>進路就職ガイダンス(キャリア支援説明ナビサイト登録会)</p> <p>自己発見診断II(第3学年対象)</p> <p>業界・企業研究セミナー(2日間)</p> <p>冬の筆記試験対策講座</p> <p>SPI言語非言語受験会</p> <p>キャリア支援ガイダンス (進路希望登録・年間予定説明・性格診断)</p>																							
	<p>12/18/19</p> <p>1/16</p> <p>2/12</p> <p>2/21</p> <p>3/28</p> <p>3/28</p> <p>4月</p> <p>4月下旬</p> <p>5月</p> <p>5月中旬</p> <p>5月</p> <p>5月下旬</p> <p>6月</p> <p>6月上旬</p> <p>6月</p> <p>6月中旬</p> <p>6月</p> <p>6月中旬</p> <p>6月</p> <p>6月下旬</p> <p>7月</p> <p>7月上旬</p> <p>8月</p> <p>8月上旬</p> <p>9月</p> <p>9月下旬</p> <p>10月</p> <p>10月下旬</p> <p>10月</p> <p>10月下旬</p> <p>10月</p> <p>10月下旬</p> <p>11月</p> <p>11月中旬</p> <p>11月</p> <p>11月下旬</p> <p>11月</p> <p>11月下旬</p> <p>11月</p> <p>11月下旬</p> <p>11月</p> <p>11月下旬</p> <p>12月</p> <p>12月中旬</p> <p>12月</p> <p>12月中旬</p> <p>12月</p> <p>12月中旬</p> <p>1月</p> <p>1月上旬</p> <p>1月</p> <p>1月中旬</p> <p>2月</p> <p>2月</p> <p>2月</p> <p>2月</p> <p>2月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>3月上旬</p> <p>3月</p> <p>3月上旬</p> <p>3月</p> <p>3月中旬</p>																							
	<p>履歴書作成のための個別面談 ～私の特徴・学生時代に力を注いだこと～</p> <p>10/11~2/末</p> <p>面接実践(集団面接・グループディスカッション)</p> <p>11/1~2/末</p> <p>3年ゼミ別ガイダンス</p> <p>9/中旬~12/末</p> <p>各自掲示板やPOTANI UNIPAなどの 最新情報を確認してください。</p>																							
	<p>ガイダンス等 全員参加(無料)</p> <p>セミナー 任意参加(無料)</p> <p>講座 任意参加(有料)</p>																							
授業講習等	<p>【現代総合科目】キャリアデザイン概論1 (1~4年対象)</p> <p>【現代総合科目】キャリアデザイン概論2 (1~4年対象)</p> <p>【現代総合科目】キャリアデザイン実践2 (3~4年対象)</p> <p>【現代総合科目】キャリアデザイン実践1 (2~4年対象)</p> <p>インターンシップ1大学コンソ京都 ※エントリー期間:4月中旬~5月初旬 ※就業体験(実習)期間:8月初旬~9月中旬</p> <p>インターンシップ2大谷大学 ※エントリー期間:5月初旬~6月初旬 ※就業体験(実習)期間:8月初旬~9月中旬</p> <p>秘書検定2級受験対策講習</p> <p>TOEIC L&R Test レベルアップ講習</p> <p>MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト) 受験対策講習</p> <p>販売士検定3級 受験対策講習</p> <p>知的・精神障害者 ガイドヘルパー養成研修講習</p> <p>社会福祉士国家試験受験対策講習 ※他大学と合同開講</p> <p>介護職員初任者研修講習</p> <p>公務員採用試験受験対策講習</p> <p>教員採用試験受験対策講習</p>																							
	<p>第1学年・第2学年次生を 対象とした支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路就職ガイダンス(合同) ・自己発見診断I ・自己発見診断IIフォローガイダンス ・先輩との茶話会 ・「キャリアデザインCafe」 ・ライフプランニングセミナー ・筆記試験対策講座 																							
	<p>就職活動体験記</p> <p>私は3年生の春から就職活動を意識し始め、OPIなど、自分が取っておいいた方が良さそうだと思う資格を取ることにしました。3年生の後期からは、履歴書作成講座などで小さい頃自分はどうな子どもだっただろう、などと振り返っていきうちに、なんとなく好きな事がわかってきたので、そのなかで興味のある1dayインターンシップや企業説明会に参加し、業種を選んでいきました。また、就職活動をしていくなかで、友人やキャリアセンターの存在ははとて大きく、マイペースな私にやる気を出させてくれました。ほかの人と活動期間が違って焦ることもありましたが、友達と悩みを共有したり、キャリアセンターで相談したりすることで気持ちが楽になり、自分のペースで活動することができたと思います。</p>																							
	<p>2019年3月 文学部歴史学科卒業 栗山 友来 【就職先】 株式会社 テルウィンコーポレーション ウエスティンホテル大阪</p>																							



2019年3月 文学部歴史学科卒業
栗山 友来
【就職先】
株式会社 テルウィンコーポレーション
ウエスティンホテル大阪

私は3年生の春から就職活動を意識し始め、OPIなど、自分が取っておいいた方が良さそうだと思う資格を取ることにしました。3年生の後期からは、履歴書作成講座などで小さい頃自分はどうな子どもだっただろう、などと振り返っていきうちに、なんとなく好きな事がわかってきたので、そのなかで興味のある1dayインターンシップや企業説明会に参加し、業種を選んでいきました。また、就職活動をしていくなかで、友人やキャリアセンターの存在ははとて大きく、マイペースな私にやる気を出させてくれました。ほかの人と活動期間が違って焦ることもありましたが、友達と悩みを共有したり、キャリアセンターで相談したりすることで気持ちが楽になり、自分のペースで活動することができたと思います。

就職活動体験記

谷大ライフ

Tanidai Life

アメリカヤ楽器店

味わいのある
店内だな～



戦後から73年続く 歴史ある店

アメリカヤ楽器店さんは1945年創業で、先代の社長さんが戦争から帰られた後に始められました。当時、アコーディオンに秀でていた先代は、戦地でもその演奏で人々を楽しませていたそうです。戦争が終わってから楽器店を開かれ、今日まで続くお店になりました。

なぜ「アメリカヤ楽器店」という名前なのかというと、先代のお母様が「アメリカヤ洋装店」というお店を開かれていて、そこに外国のピアノを置いていたところ、その楽器が売れたそうです。そこから名前を引き継ぎ、楽器店を始められたので今の名前になったとおっしゃっていました。

店内にはヴァイオリンなどの弦楽器はもちろん、先代が得意だったというアコーディオンやピアノ、そのほか数多くの楽器が販売されています。また、お店の2階にはアンティークな小物がたくさん置かれていて、まるで外国へ行ったような気分になりました。この小物も、先代が外国へ旅行に行かれた際に、各地で集められたそうです。

楽器を
手にとって
確かめ
られます



映画「この道」に
出演しました!



調律技師
長岡 哲也さん

楽器店以外の活動

このお店は、楽器を販売する以外にもいろいろな活動をされています。音楽のレッスン教室もそのひとつです。種類は多岐に渡り、ヴァイオリン・ピアノ・チェロ・フルート・ギター・ハーブ・シャンソンボーカルなどさまざまです。お店の3階と北大路烏丸の交差点を渡った先にあるビルにレッスン室があり、そこに外部から講師の先生を呼んでレッスンをされているようです。私たちがインタビューに伺ったときも生徒さんがいらつしゃっていました。生徒さんは小さいお子様だけではなく、大人になってから始められる方もいらつしゃるようです。なかには定年退職された方が、新しい趣味として始められることもあるとおっしゃっていました。

ほかには毎月第2、第4月曜日にFMラジオの放送をされています。音楽や美術などで活躍されている方をお呼びして、お話を聞くという番組です。私たちアメリカ民謡研究部の先輩バンド「Luni On top」もこのラジオに出演させていたことがありますが。その際はお店の2階で演奏し、録音したそうです。



いろんな楽器がたくさん!



楽器店の魅力

アメリカヤ楽器店さんの魅力は、実際に手にとって楽器を確かめられるところです。今はインターネットでも楽器が買える時代ですが、お客さんが楽器を手にとって弾き、自分の耳で確かめることを大切にしています。また試奏をすることができ、お店の方々に相談に乗っていただけます。皆さんともフレンドリーで優しく話してくださいるので、そこも魅力のひとつです。また楽器のコンディションのフォローをしていただくこともでき、その丁寧なサービスはとても素晴らしいです。「実際に手にとっていただき、コンディションのいいものを提供する」というのが、このお店のモットーのようです。私たちアメリカ民謡研究部もここで楽器を購入し、定期的にメンテナンスをしていただいています。メンテナンスに出した楽器がきれいになって帰ってくるのは、やはりうれしいです。楽器を買いたい、相談に乗ってほしいという方は、アメリカヤ楽器店さんを訪れてみてはいかがでしょうか。

今回は、アメリカ民謡研究部から集まった、5名で取材を行いました!



宮戸 かの子 (文学部真宗学科 第3学年) 井上 葵 (文学部国際文化学科 第2学年) 久米 ゆめ乃 (文学部仏教学科 第3学年) 廣中 碧 (文学部歴史学科 第2学年) 山本 貴太郎 (文学部歴史学科 第4学年)

今回ご紹介したお店は
こちら!

FM79.7MHz
「京都三条カフェ」で放送
「ええンジョイ♪MUSIC!」

AMERICAYA
アメリカヤ楽器店

〒603-8143 京都市北区小山上総町14-16 TEL/075-441-2341
営業時間/10:00~19:30 定休日/無休(お盆と年末年始除く)

2018年度 大谷大学教育後援会 文芸奨励賞

テーマ 「ここにあるReal」

大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、学生支援事業の一環として本学の在学生を対象に文芸作品を募集し「言葉による表現意欲を奨励すること」を目的に、2006年度に創設された賞です。2018年度のテーマは「ここにあるReal」。このテーマのもと198編の応募がありました。

50文字以内という制限があるなかで、現代という時代を背景にして感じていることや、便利で手軽なSNS等のツールをとおして感じることに、親元を離れて一人暮らしを始めたなかでの実感、それまでの自分のなかにはなかった体験を表現されたもの、漠然とした感覚や、不安や悲しみなど、さまざまに表現をしてくださいました。表現方法も、他人に呼びかけるもの、自分に語りかけるもの、身からあふれ出るようなものなどいろいろでありました。

Realを感じるころは、時間、空間、人間関係等々、さまざまにあることを私自身も考えさせられた機会となりました。今後新たな出会いが展かれることを念じています。

教育後援会会長 井上正



文芸奨励賞表彰式
2018年11月24日(土)

最優秀賞

短期大学部 仏教科 第2学年

鮫島 想太 (サメシマ ソウタ)

一限前の教室に、清掃員の姿あり。整った環境。

あたり前ではない。

無量無数の思いや願いに

我が身を澄ませ。

優秀賞

文学部 社会学科 第2学年

須見 龍気 (スミ リウキ)

こんなにも白い雲があり、こんなにも空が青い
ということ初めて実感した。
レー標高3500mの街にて

文学部 社会学科 第2学年

藤本 真琴 (フジモト マコト)

後悔もまた人を創る要素だろう

今何もしないで後悔しないことを後悔したくない

なんだか殻が割れそうだ

佳作

文学部 真宗学科 第4学年

葦名 唯香 (アシナ ユイカ)

自信を持った方がいい。

謙虚な方がいい。

個性的な方がいい。

模範的な方がいい。
どうすればいい？

文学部 社会学科 第4学年

中西 健友 (ナカニケンユウ)

イスがある、机がある、ベンがある。
形のないものを学ぶ場所がある。
それを形にする自分がいる。

文学部 社会学科 第3学年

高木 有里奈 (タカキ ユリナ)

「普通はこうするべき」
と言いたくなるのをぐっと抑える
少し成長した自分がそこにある。

文学部 社会学科 第3学年

松本 拓 (マツモト タク)

子どもが見ていると思えば少し誠実になれる。
優しさの本質は教育にあるのかもしれない。

文学部 国際文化学科 第3学年

平石 梨紗 (ヒライシ リサ)

学びたいことを学び、やりたいことに
挑戦させてもらえる日々。
当たり前のように見えるけれど、
一番の幸せ。

文学部 教育・心理学科 第3学年

一岡 凌輔 (イチオカ リョウフスケ)

天が与えたものは
同じではないかもしれないが
一日の長さは同じ、
時の使い方が
人を変える。

文学部 教育・心理学科 第3学年

楠 彩華 (クス サヤカ)

なにをもって真実なのか、
どこから現実なのか、
2つの実は、さがしつけなければ見つからない。

文学部 教育・心理学科 第3学年

西川 岳良 (ニシカワ タカラ)

苦悩から逃げるな、現実を見る。
価値観にとらわれるな、真実を見る。
学ぶ意味は、ここにある。

文学部 真宗学科 第2学年

加賀 寺顕 (カガ テラアキ)

ここにあるはずのReal
知っているはずのReal
気付いていないReal

文学部 歴史学科 第2学年

秋野 未帆 (アキノ ミホ)

WiFiがつながる喜びよりも
人とつながる喜びを味わっていたい。

文学部 哲学科 第1学年

山田 紗希 (ヤマダ サキ)

自分を好きになれるような
あ、これだ、という感覚に
素直な私でいたいから
ぐっと飲み込み
ひとまず学ぶ

社会学部 コミュニティデザイン学科 第1学年

藤本 ちひろ (フジモト チヒロ)

カラダとジカンがたりない。
やりたいことやってみたいこと知りたいこと
身体と時間が足りない

教育学部 教育学科 第1学年

石田 莉奈 (イシダ リナ)

目に見えるものは「現実」
見えない不変のものが「真実」
「真実」は一つだけでも、
「現実」は人の数だけある

※学生の学年は、入賞作品発表時のものです。

執行部の交代

〔研究国際交流担当副学長〕
 浦山 あゆみ
 (前研究国際交流担当副学長 加藤 文雄)
 〔入学センター長〕
 中川 真二(兼任)
 2019年4月1日付(各通)

館長等の交代

〔真宗総合研究所長〕
 浦山 あゆみ
 (前真宗総合研究所長 加藤 文雄)
 2019年4月1日付

定年退職

〔教育職員〕
 荒瀬 克己(教授/文学部)
 市川 郁子(教授/教育学部)
 朴 一功(教授/文学部)
 番場 寛(教授/文学部)
 藤嶽 明信(教授/文学部)
 村瀬 順子(教授/文学部)
 ローズロバート F.(教授/文学部)
 上田 敏樹(准教授/文学部)
 〔事務職員〕
 今村 節子(教育研究支援部)
 中村 雅亮(学生支援部)
 曲淵 訓和(総務部)
 目賀田 敦子(総務部)
 2019年3月31日付(各通)

契約期間満了による退職

〔教育職員〕
 下道 省三
 (特別任用教授/短期大学部)

松井 玲子
 (任期制助教/短期大学部)

東 真行
 (任期制助教/文学部)

川口 淳
 (任期制助教/文学部)

岸野 亮示
 (任期制助教/文学部)

駒井 匠
 (任期制助教/文学部)

塚島 真実
 (任期制助教/文学部)

根無 一行
 (任期制助教/文学部)

森 類臣
 (任期制助教/文学部)

宇野 真由美(総務部)

熊谷 亜雅紗(学生支援部)

竹田 裕衣子(学生支援部)

田端 彩子(教育研究支援部)

常本 奈那(学生支援部)

橋本 佳奈(学生支援部)

横原 みちほ(総務部)

戸城 えりこ
 (校医)

山内 正美
 (寮監)

柏樹 貴弘(貫練学寮)

佐々木 えみ(自灯学寮)

西尾 浩二
 (学習支援アドバイザー)

竹花 洋佑
 (学習支援アドバイザー)

松下 俊英
 (地域連携アドバイザー)

渡邊 温子
 (地域連携アドバイザー)

森本 純代
 (地域連携アドバイザー)

〔真宗総合研究所東京分室長〕
 池上 哲司

〔PD研究員(真宗総合研究所東京分室)〕
 稲葉 維摩

藤原 智

松澤 裕樹

〔PD学芸員〕
 門井 慶介
 2019年3月31日付(各通)

依願退職

〔事務系嘱託〕
 天山 信栄(教育研究支援部)
 2018年9月30日付

〔事務系嘱託〕
 小木野 暁子(教育研究支援部)
 2018年10月31日付

新規採用

〔教育職員〕
 西川 幸余
 (准教授/文学部)

荒瀬 克己
 (特別契約教授/文学部)

西尾 浩二
 (講師/文学部)

市川 郁子
 (特別契約教授/教育学部)

松井 玲子
 (特別契約教授/短期大学部)

麻生 陽子
 (任期制講師/文学部)

井上 裕樹
 (任期制講師/短期大学部)

青木 佑介
 (任期制助教/文学部)

浦井 聡
 (任期制助教/文学部)

鎌田 智恵
 (任期制助教/文学部)

高井 龍
 (任期制助教/文学部)

裴 始美
 (任期制助教/文学部)

山本 春奈
 (任期制助教/文学部)

〔事務職員〕
 工藤 早紀
 (総務部付)

近藤 優衣
 (総務部付)

篠塚 瑞希
 (総務部付)

田丸 由希子
 (総務部付)

津田 尚依
 (総務部付)

松尾 充一朗
 (総務部付)

丸尾 大貴
 (総務部付)

〔事務系嘱託〕
 石橋 鮎
 (教育研究支援部)

小倉 朋子
 (学生支援部)

片山 理沙
 (学生支援部)

加納 瑠実
 (学生支援部)

窪 浩子
 (総務部)

近藤 実咲
 (学生支援部)

塩見 優樹
 (学生支援部)

内藤 佑美花
 (教育研究支援部)

中島 香代
 (学生支援部)

中村 かおり
 (教育研究支援部)

能田 桂
 (教育研究支援部)

〔校医〕
 秋篠 雄哉
 山口 智美

〔寮監〕
 本多 正弥(貫練学寮)

〔学習支援アドバイザー〕
 竹花 洋佑

〔学習支援アドバイザー〕
 田鍋 良臣

田原 理恵

寺井 伸子

根無 一行

花房 ともえ

平野 和歌子

萬田 恵子

森 類臣

〔地域連携アドバイザー〕
 山田 大地

〔PD研究員(真宗総合研究所東京分室)〕
 青柳 英司

大澤 絢子

鍾 宜鈴

西村 晶絵

〔教授〕
 井上 摩紀(教育学部)

武田 和哉(文学部)

藤田 義孝(文学部)

松浦 典弘(文学部)

箕浦 暁雄(文学部)

〔准教授〕
 高橋 真(社会学部)

藤元 雅文(文学部)

2019年4月1日付(各通)

2019年度納付金について

納付金は1年分を「前期」と「後期」の2回に分けて、納入していただきます。前期納付金の納入期限は4月22日(月)、後期は9月30日(月)(銀行受付日付有効)です。学費納付書は、保証人(学費負担者)宛に4月1日(後期は9月1日)に大学より発送しますので、納入期日までに納入してください。納入期日までに納入のない場合は、学則により除籍となりますのでご注意ください。

なお、学費納付書が届かない場合や、紛失・破損した場合には再発行いたしますので、財務課までお申し出ください。また、事情により期日までに納入が困難と予測される場合には、学生支援課において学費延納の手続きを4月22日(月)〔後期は9月30日(月)〕までに行ってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」(所定用紙)の提出が必要となります。ご留意ください。

納付金はこんなことに使われています

■授業料

【授業】大学において最も重要な事業です。2018年度からスタートした、複数学部体制のもとで、学びの実現に向けた授業を展開しています。

【学習支援室(LEARNING SQUARE)】リメディアル教育に主眼を置き、常時3名常駐の学習支援アドバイザーによる、基礎英語・日本語の読み書きを中心とした個別指導を行っています。

【文藝塾】高度な読み書き能力を身につけた学生を育成するために設置しています。「文藝塾講義」「文藝塾実践演習」など

の文藝塾関連科目を中心に授業としての活用、また、課外活動や読書会等を実施していきます。

【教職支援センター】教職課程に関する履修相談や実習等の事務手続きのほか、学校ボランティアの紹介や各種手続き、地域連携企画・運営等の教職課程に関する支援を行っています。

【地域連携室(コミュニティラボ)】各種地域連携プロジェクトに携わる学生たちの、さまざまな活動への支援や外部の団体との出会い・対話をとらえて、社会を生きるためのあらゆる力を養うための支援等を行っています。

【語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)】国際交流の拠点の場であり、留学や外国語を学ぶことをとおして、異文化への理解を深めるとともに、世界とのつながりのなかで、学生たちの成長を支援しています。

■施設設備費

本部キャンパス・湖西キャンパスの各施設の維持管理を行っています。特に、空調設備やAV機器の更新等、学習環境の整備を進め、教育研究の充実をはかっています。パソコンは総合研究室69台やCALL教室44台の更新を行います。また、サーバーソフトのアップデートやOSのアップデート、それに伴うCALLシステム等の更新、新たな教育用の教材ソフトの導入にも対応します。

■教育後援会費

全国各地で開催される保護者懇談会などの事業経費のほか、学生会やクラブ、学園祭等の課外活動を助成しています。ま

た、ゼミやクラスの懇談会への助成や、グラウンド運行バスの助成、学生総合保障や賠償責任保険への加入助成、勤労学生表彰奨学金、文芸奨励金等、さまざまな助成を行っています。

■同窓会費

7月から9月に、全国の支部を巡回する夏季八十講の講演会には、大学から講師を派遣し、大学と協働して大谷大学の学術・研究を公開しています。また、同窓会ホームページや会報「無盡燈」は、タイムリーな情報を提供できるように努めています。卒業・修了ならびに同窓会入会歓迎祝賀会は、在学生が卒業・修了と同時に同窓会に入会し、卒業後も永く大学との関係を保ち、相互の理解を深めてもらうために、お祝いと同窓会入会歓迎

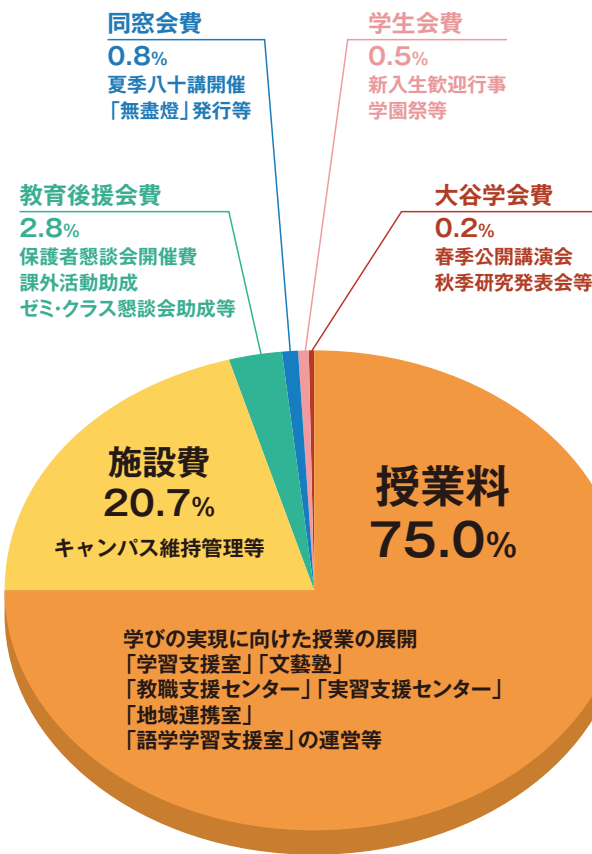
■学生会費

学生相互の自治に基づき学生生活全般の発展向上を目的として組織され、学生全員が構成員となります。学生会を基盤として、各課外活動団体が組織運営されています。また、学生会員の日常生活の安定を図るための諸事業や、新入生歓迎行事、学園祭等の行事を行っています。

■大谷学会費

本学の学術研究の推進及びその成果の公開を目的として、春季公開講演会や秋季研究発表会を行っています。それらは、「大谷学報」や「大谷大学研究年報」にまとめられて、配布されています。

納付金(学費と諸会費)内訳



教育後援会だより

2018年度

教育後援会事業について(報告)

全国保護者懇談会開催

2018年9月22日(土)、本学を会場に「大谷大学教育後援会全国保護者懇談会」が開催され、全国から約340名を超える保護者の皆様が参加されました。

講堂での大学現況報告では、教育後援会会長の開会挨拶に始まり、木越康学長から大学の現況ならびに本会開催の趣旨について説明を行いました。

続いて、学生支援部職員からは、履修状況の確認方法や、クラブ活動・奨学金制度などの学生生活のサポート体制について、さらに近年の就職状況の傾向や支援体制について説明を行いました。

講堂での現況報告の後、新教室棟「慶聞館」へ会場を移し実施された個別相談会では、「教員との個別懇談」の場が設けられ、保護者の方々は、学生の担当教員(指導教員)より学生の授業中の様子や履修状況などについて熱心に聞いておられました。その後開催された、部署別個別相談の各コーナーでは、学生生活に関する相談や入試・海外留学等の相談が寄せられました。また、模擬授業や、大学見学ツアーも開催され、学生が学ぶ様子を肌で感じることで、

多数のご出席をいただいたことで、ご相談までにお時間をいただいた方もいらっしやいましたが、和やかな雰囲気



大学の現況報告の様子



教員との個別相談の様子

恒常的な補助について

恒常的な補助として、2018年度も、課外活動団体への活動補助、筆記試験対策・面接実践講座など就職支援に対する補助、各種奨学金や奨励金の給付・貸与が行われました。

※そのほかの事業につきましては、8月発送予定の「教育後援会報告書」にて報告いたします。

2019年度 教育後援会行事について(お知らせ)

2019年度は下記のとおり行事を開催する予定としております。なお、全国保護者懇談会は、学生指導上、「履修単位通知書」の配付時期や、聴講登録修正期間等の学年暦を考慮し、決定しております。ぜひ、ご出席くださいますようお願いいたします。

全国保護者懇談会	
2019年9月21日(土)	大谷大学
北海道地区保護者懇談会 ※	
2019年10月20日(日)	札幌国際ビル<大谷大学フェア(北海道)開催> (北海道札幌市中央区北4条西4丁目1)
近畿地区保護者懇談会	
2019年11月30日(土)	草津商工会議所<大谷大学フェア(近畿)開催> (草津市大路2丁目11-51)
四国地区保護者懇談会 ※	
高知会場 2019年12月7日(土)	会場未定 ※案内状およびホームページでお知らせいたします。
高松会場 2019年12月8日(日)	サンポートホール高松(香川県高松市サンポート2-1)

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業を企画・推進しています。

※…該当地区に在住の方の保証人へ案内。
・大谷大学フェアでは、公開講演会、進学相談会を開催。
・会場については変更になる可能性があります。
ホームページまたは案内状をご確認ください。

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

教育振興資金寄付者 (敬称略)

【個人】	【法人・団体】
森元 隆雄 (山口県)	匿名 2件
匿名 2件	

◆件数 5件 ◆寄付金総額 160,000円

OTANI古本Project始動!

このたび、「OTANI古本Project—ヒロガル×ツナガル学生支援—」が始まりました！このプロジェクトは、読み終えた本、不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を寄付することで、寄付された書籍は、社会へ還元され、いただいた寄付金は、大谷大学が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用等となる寄付事業です。古本は、郵送または大学図書館設置の回収ボックスで回収可能です。この機会にぜひ、「OTANI古本Project」にご参加ください。詳しくは、大谷大学ホームページをご確認ください。



古本募金回収ボックス (図書館1階に設置)

大谷大学古本募金 検索

※買い取り価格は需要と供給で決まるため、寄付していただいた書籍等の状態が良くても値段がつかないこともありますので、ご了承ください。
※「OTANI古本Project」では、値段がつかない書籍等を、運営会社の株式会社パリュブックスを通じて、国内の福祉施設、図書館、海外の教育研究機関等に寄贈します。

税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、領収書を添えて申告をしてください。

2018年7月1日から2019年1月31日までの間、教育振興資金局へご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。
このたびは、募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。
今後も引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

大谷大学キャンパス総合整備 新教室棟建築資金(募金)について

2015年度より行なってまいりました大谷大学キャンパス総合整備 新教室棟建築資金(募金)につきましては、2019年3月末をもちまして無事終了いたしました。この建築資金のためのご寄付をいただいた方へは厚く御礼申し上げます。
建築資金としてご寄付いただいた方のお名前については、左記の「教育振興資金寄付者」一覧とは別に、別途名簿を作成する予定です。何卒よろしくお問い合わせください。

お問い合わせ先

教育振興資金事務局

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター

TEL : 075-411-8124 FAX : 075-411-8157

E-mail : kouyu@sec.otani.ac.jp

教育振興資金(募金)について

時代をみつめる

人はなぜ猫に惹かれるのか？

空前の「猫ブーム」がきているらしい。

猫カフェ、猫寺、猫島、ネコノミクスと、なにかと猫が騒がしい。2015年には、日本の犬猫の飼育数が15歳の子どもの数を超え、最近猫の飼育数が犬を超えた。インスタグラムやTwitterには毎日愛らしいネコ画像が投稿される。ネコ検定なるものも始まり、猫人氣はとどまることを知らない。かくいう私も、愛猫をこよなく愛する愛猫家だ。日々愛猫の写真を撮ることに忙しい。

ところで、猫はなぜこんなにも人を惹きつけるのだろうか？

毎日の散歩も不要で高齢者や単身者でも一緒に暮らしやすい。きれいな毛繕いを欠かさずニオイも気にならない。体も鳴き声も小さくマンションでも近所迷惑になりにくい。こんな猫の習性と私たちの暮らしのカタチが合っているのも人気の要因だろう。

しかし、それだけではない気がする。猫ブームは今に始まったことではなく、古くから人びとは猫に魅了されてきた。

赤毛のアンの著者モンゴメリは、作品のなかで「わたしは猫が大好き。猫ってすばらしく身勝手ですよ。犬は善良で忠実すぎるから、

いっしょにいと疲れちゃうけど猫は人間ぽくっていいわ」と少女に語らせる。身勝手で気分屋、見ると欠点に見えたとしても、その欠点こそが人間らしく、愛しさを感じずにはいられないということだろうか。

また、ヘミングウェイは猫の魅力をこう語る。「猫はいつだって自分の感情に正直だ。人間は何かと気持ちを隠そうとするが、猫はそんなことしない」。なるほど。多かれ少なかれ、誰も心のどこかで感情に正直に生きたいという思いを持っている。しかし、それは容易いことではない。社会や人の目がつい気になり、なにかと「ぐっ」とこらえて「我慢して」「日々を送ってはいないだろうか。そんな毎日だからこそ、感情に正直で、いまを生きる猫への憧れが尽きないのだ、とも思う。
なにはともあれ、猫はかわいい。



社会学部
コミュニティデザイン学科
講師 大原 ゆい
専門分野/社会学

時代を照らす仏教のことば

大悲ものう倦ものうきことなくして
常に我が身を照らした
まう。

源信『往生要集』(『真宗聖教全書』1 809頁)

編集後記

今回の巻頭対談に参加してもらった学生の話聞いて、普段の物事の捉え方を考え直す機会になったのと同時に、役に立つかどうかで測れないことも大学での大切な学びのひとつだと気づかされました。在学生の皆さんには、授業のなかで答えの出ない問いに出会ったとしても、今の自分自身を見つめ直すきっかけにしてほしいと思います。
(編集担当)